

みんなで子育て

～子育て日本一とやまを目指して～

市では、子どもたちが健やかで幸せに成長できるよう、子ども・子育てにやさしい社会づくりに取り組んでいます。そこで、「子育て」に関する特集記事(全3回)を掲載し、子育て家庭や保育に携わる方、市の取り組みなどを紹介します。 **問**こども支援課 ☎443-2252

第2回目のテーマは「元気いっぱい笑顔あふれる保育の職場」です。

保育士の仕事について、富山市立岩瀬保育所の保育士・小林優華さんこばやしゆうかに聞きました。



Q. なぜ、保育士になったのですか？

子どものころに保育士さんが優しく接してくれたことが心に残り、小学生になると「将来、保育士になるのが夢」と口にするようになりました。大学で保育士資格を取り、岩瀬保育所で働き始めて3年目を迎えます。9月からは2歳児が在籍する「うさぎぐみ」を担当しています。得意な手描きイラストや歌声を生かしたリトミック^(※)を取り入れるなど、自分の強みを保育に役立てています。

(※)リトミック 音楽に合わせて体を動かすリズム遊び

Q. どんな瞬間に、やりがいを感じますか？

子どもの日々の成長を間近で目にし、達成感を共有できるのがやりがいです。歩いたり言葉を口にしたりなど、新たにできることが増えていく姿は、仕事へ向かう励みにもなります。発語時期に「コバ先生」と呼んでもらえたときは感動しました。

子どもの目線に立ち、自然な笑顔で一人一人の話をよく聞くことを大切にしています。保育士は、子どもや保護者、地域住民、同僚など、たくさんの人の笑顔に触れられる幸せな仕事です。感謝される場面も多く、保育士としてみなさんの役に立っていることを実感します。








Q. これからの目標を教えてください。

子どもたちが何を考えているのかわからず、どう接すればいいのか悩むことがあります。そんなときは一人で抱え込まずに、いろいろな経験をしてこられた先輩保育士に相談して、いつも力になってもらっています。

子どもたちとたわいない話をするのが楽しいです。将来なりたいものの話をしていたときに「先生は何になると思う?」と聞いたら「カエル」と言われて思わず笑ってしまいました。子どもの突拍子もない発想や素直な心、やさしさが、仕事の大変さを乗り越える力になっています。

子どもたちの笑顔や日々の成長に触れて、喜びや幸せを感じられる保育士の仕事を、これからも長く続けていきたいです。

1日のタイムスケジュール

- 6:30 起床 朝食、身支度 
- 8:00 出勤 残務整理、1日の準備 
- 8:30 始業
- 9:30 クラス別保育、自由遊び
- 11:30 子どもたちと一緒に給食 
- 12:30 休憩時間
- 13:15 午後の保育 (うさぎぐみは、14:30までお昼寝)
- 14:45 子どもたちのおやつ時間 
- 15:00 クラス別保育、自由遊び
- 15:30 お迎えに来た保護者に、1日の出来事を報告 
- 18:00 退勤 ランニングやヨガ、サウナで汗を流す
- 20:00 夕食 
- 23:00 就寝 

市立保育所・市立認定こども園の
会計年度任用職員を募集しています。

詳しくは
こちら 

